

# 元号

## 地平天成

史跡足利学校  
企画展

10月20日(土)~12月2日(日)

国宝展示は 10月20日(土)~11月4日(日)

史跡足利学校事務所・☎412655

### 新元号制定を控えて

来年は天皇陛下のご退位に伴い、新たな元号(年号)が制定されることとなっています。

元号の多くは、中国の古い書籍に書かれた文章が由来となっており、史跡足利学校では、その由来となった古い書籍を数多く所蔵しています。

そこで、新元号の制定を控えて、足利学校が所蔵する国宝や市重要文化財などの貴重書籍を公開し、元号の由来や変遷などについて広く紹介します。

### 元号の歴史

元号の始まりは、中国前漢の建元(紀元前140年)といわれ、その後、朝鮮半島やベトナムなどでも採用されました。日本で最初の元号は『大化』(645年)で、以降『大宝』から『平成』に至るまで継続しています。現在、元号を使用しているのは、世界で唯一、日本だけです。

元号の制定は、天皇の即位やめでたい兆し、自然災害などの理由により行われてきましたが、現在は、元号法(昭和54年公布)

### 元号 知識

- **今までの元号の数はいくつ?**  
『大化』から『平成』までの1,300年余りの間で247
- **一番長かった、短かった元号は?**  
最長は『昭和』の62年と14日、最短は『暦仁』の2カ月と14日
- **今までに使われた文字は?**  
意外と少なく72文字、最多は『永』の29回、『成』『昭』は1回

により、皇位の継承があった場合に限り、政令で定めるとされています。

### それぞれの元号の由来

由来となる書籍について諸説ありますが、例えば『太平』は『礼記』、『宝曆』は『貞観政要』、『慶應』は『文選』、『文化』は『後漢書』、『明治』は『大正』は『周易』、『昭和』、『平成』は『尚書』、『平成』は『史記』が典拠とされています。いずれも足利学校に所蔵されている中国の古い書籍です。

今、改めて注目されている元号。今回の展示を通して、元号の歴史と足利学校の価値を、ともに感じてみてはいかがでしょうか。

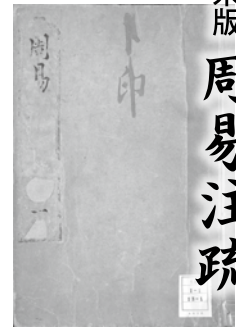


## 足利学校所蔵国宝書籍と元号

【国宝】  
 宋版 尚書正義



【国宝】  
 宋版 周易注疏



『平成』出典部分(大禹謨)

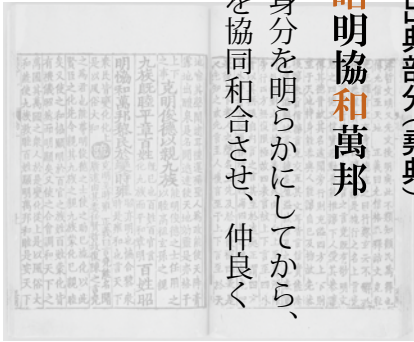
帝曰兪地平天成六府三事  
 允治万世永頼時乃功

帝の瞬が言うことには、「その通りだ。地は平穩で万物が成長している。生活の基である六府も厚生など二つの事もうまくいって、永遠に頼りになるというのは、あなた(禹王)の功績である。」と。

『昭和』出典部分(堯典)

百姓昭明協和萬邦

百官の身分を明らかにしてから、万の邦を協同和合せ、仲良くさせた。



『大正』出典部分(臨卦象伝)

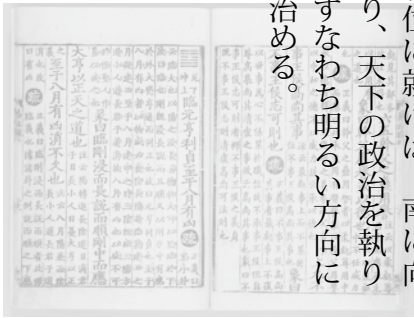
大亨以正天之道也

大いに支障なく行われ、しかも正しい道に沿ったものであることは、天道(宇宙の道理)に合致している。

『明治』出典部分(説卦伝)

聖人南面而聴天下嚮明而治

聖人が君位に就けば、南に向かつて座り、天下の政治を執り行った。すなわち明るい方向に向かつて治める。



### interview 元号は日本に根差した文化

新たな元号の制定は、改めて言葉や漢字、日本の文化を考える良いきっかけになっていると思います。

元号は日本人の生活に深く根差しています。例えば授業で習った『大正デモクラシー』という言葉も、西暦で表現されては、あまりピンときません。『大正』という元号から、その時代背景が思い浮かぶところに日本文化の情緒があると言えます。『大化の改新』や『応仁の乱』、『明治維新』もそうです。日本人は今まで大きな出来事と元号を結びつけて考えてきました。

新しい元号には、個人的には、今まで『論語』を出典とした元号はあまりないようですので、論語から引用されればと期待しています。

今回の企画展は、元号について考えるまたとない機会。また、貴重な書籍を持つ足利学校の価値を知る機会でもあります。ぜひお越しいただき、言葉や日本の文化について考えてみてはいかがでしょうか。

足利学校論語研究会  
 会長 飯野紀一さん



#### ■展示詳細

期間 10月20日(土)～12月2日(日)  
 (国宝展示は11月4日(日)まで)  
 午前9時～午後4時30分  
 (受付は4時まで)

場所 史跡足利学校内遺蹟図書館  
 参観料 一般 420円 高校生 210円  
 (中学生以下無料。団体割引あり)

#### ■基調講演

時間 午前10時～11時30分  
 会場 史跡足利学校 方丈  
 定員 各回当日先着60人  
 ※事前申込不要

【その一】  
 日時 10月28日(日)  
 講師 足利学校論語研究会  
 会長 飯野紀一さん  
 演題 元号と古典

【その二】  
 日時 11月18日(日)  
 講師 慶應義塾大学文学部  
 教授 高橋智さん  
 演題 年号と漢籍